

7 町の年中行事と文化ざい

わたしたちの町には、昔からの行事（^{ねんちゅうぎょうじ}年中行事）や、昔から残されている物（文化ざい）が今も大切にうけつがれています。こうした年中行事や文化ざいに、人々はどんなねがいを持っているのでしょうか。お年よりにお話を聞いたり、見学したりじっさいにさんかしたりして調べてみましょう。

(1) 町の年中行事

○^{おおわだ はちまんじんじやとぎよさい}大和田八幡神社渡御祭

毎年9月9日に行われるおまつりで、20年に一度は、^{ごせんぐう}御遷宮が行われます。これは、^{ごしんたい}御神体をおみこしにうつして、^{うじこ}氏子（八幡神社を^{しんこう}信仰する人）の住む^{ちく}地区を回るといふものです。

○^{はったのかくら}八田野神楽

八田野地区に伝わる八田野神楽は、町指定^{むけいみんぞくぶんかざい}無形民俗文化財となっています。これは、^{めいじ}明治時代のはじめごろから伝えられたものといわれていますが、せんそうなどによりとちゅうでとだえたものを、1979年（昭和54年）9月7日にほぞん会がけっせいされまた行われるようになりました。

○^{つきはしひがんじしまい}槻橋彼岸獅子舞

槻ノ木地区に伝わる槻橋彼岸獅子舞は、町指定^{へいあん}無形民俗文化財となっています。これは、平安時代（今からおよそ1200年～800年ぐらい前の時代）に、^{ぶし}武士たちの^し士気を高めるために^ま舞わせたのが始まりといわれています。

